

No. 10 : ベトナム・台湾知事トップセールス

昨年12月15日～19日にかけてベトナムと台湾で、福田富一知事がトップセールスを行った。ベトナムでは、首相や外相との会談のほか、フート省との覚書の再締結、台湾では高雄市長との会談や魅力発信イベントの開催など、多くの成果はすでに報じられた通りだが、現地での舞台裏を紹介したい。

ベトナムは、最も多くの出身者が本県で働いている国であり、人口1億人超の若く、活気に満ちた国だ。その勢いは、大混雑の入国審査や熱烈なタクシーの客引きなど、空港でも感じることができる。高度外国人材の受け入れ促進などについて会談が行われたハノイ工科大学も、閑静な構内を一步出れば、無数のバイクが行き交う喧騒の街並みに変わる。

政府要人とのアポイントメントが直前に変更となることも珍しくないようで、知事と首相の面会は前日の夕方に急きょ決まった。こうした慌ただしさも慣れたものかと思ったが、翌17日のフート省では、担当者が「関係者との連絡がつかない」「調整は大変」と準備の苦労を語り、その後も会場内を走り回っていた。裏側で奔走する事務方の姿を垣間見る場面だった。

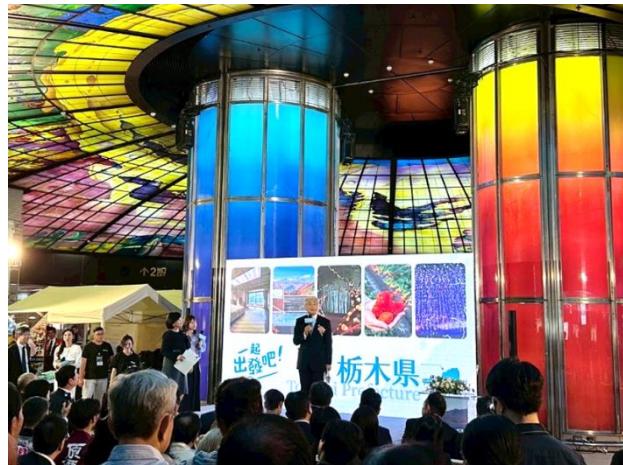
台湾・高雄市では、世界で二番目に美しい駅とも紹介される美麗島駅を会場に、県の魅力発信イベントを開催した。企業誘致、日本酒、観光、農政の全担当者が集まって行う催しで、開始早々から試食や観光情報を求める来場者で長蛇の列となつた。

後半には高雄市政府関係者らを招いたセレモニーも行った。観客を交えて行われた知事のプレゼンテーションでは、駅を行き交う人々も足を止め、最後には大きな拍手が広がるなど、終始にぎわいに包まれた。

運営を支えたスタッフには日本語を学ぶ現地学生も多く、皆一生懸命であった。本県に対しても好印象がきっと残ったはずで、こうした若者がインバウンド（訪日客）や交流の懸け橋となることも期待したい。

今回の訪問団は、県議会の池田忠議長、山田みやこ議員、中島宏議員をはじめ関係団体、民間の方々など総勢延べ56人。多くの現地関係者の協力も得ながら、トップレベルから現場まで、幅広い分野で重層的なPRと交流を図ることができた。これらの成果を今後につなげられるよう、県香港事務所でも引き続き支援に努めていきたい。

県香港事務所長 鈴木高明



【美麗島駅での魅力発信セレモニーの様子
＝2025年12月18日、台湾・高雄市】